

# 從詞彙調查和搭配詞看“～やか”類型形容動詞 —兼論與同根·同漢字表記形容詞之比較—

賴錦雀

東吳大學日本語文學系 教授

## 摘要

本論文的目的有二。其一是考察日語小說和報紙也時常看到的“～やか”型形容動詞在詞彙調查中的定位。其二是以使用頻率較高的「緩やか」為例，考察其搭配詞形式的使用狀態，並與同根同表記的形容詞「緩い」進行比較。由詞彙調查的詞彙表得知，多數「～やか」型形容動詞的使用順位低於「～い」型形容詞。不過，搭配詞方面，不論是「緩やかな+名詞」形式或者「緩やかに+動詞」形式，其用例都比「緩い」為多。

關鍵詞：「～やか」型形容動詞、同根·同漢字表記、形容詞、  
詞彙調查、搭配詞

受理日期:2022年 03月 10日

通過日期:2022年 05月 13日

DOI: 10.29758/TWRYJYSB.202206\_(38).0008

**“-Yaka” type adjective as seen from vocabulary survey and collocation: For comparison with cognate and Chinese character notation adjectives**

Lai, Jiin-chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

Abstract

The purpose of this paper is as follows. One is to clarify the position of the "-yaka" type adjective, which appears in novels and newspapers, in the vocabulary survey. The other is to consider the actual situation of collocation in the corpus, using the frequently used "yuruyaka" as an example. For consideration, I also compared it with the "-i" type adjective of the same root and the same Chinese character notation. According to the results of the vocabulary table of the vocabulary survey, the order of use of many "-yaka" type adjectives is lower than the order of use of "-i" type adjectives with the same root and Chinese characters. On the other hand, the collocation "yuruyaka-na + noun" form and "yuruyaka-ni + verb" form both have more examples than "yurui".

Keywords: "-yaka" type adjective, the same root and the same Chinese character notation, adjective, vocabulary survey, collocation.

# 語彙調査とコロケーションから見た「～ヤカ」型形容動詞 —同根・同漢字表記形容詞との比較を兼ねて—

頼錦雀

東呉大学日本語文学系 教授

## 要旨

本論文の目的は二つある。一つは小説や新聞にも登場している「～やか」型形容動詞の語彙調査における位置づけを明らかにすることである。もう一つは使用頻度の高い「緩やか」を例に、コーパスにおけるコロケーションの実態を考察することである。考察に当たり、同根・同漢字表記の「～い」型形容詞との比較も兼ねてやる。語彙調査の語彙表の考察結果によると、多くの「～やか」型形容動詞の使用順位はその同根・同漢字表記の「～い」型形容詞の使用順位より低い。一方、コロケーション「緩やかな+名詞」形式及び「緩やかに+動詞」形式はどちらも「緩い」より用例が多い。

キーワード：「～やか」型形容動詞、同根・同漢字表記、形容詞、  
語彙調査、コロケーション

# 語彙調査とコロケーションから見た「～ヤカ」型形容動詞 —同根・同漢字表記形容詞との比較を兼ねて—

頼 錦 雀

東呉大学日本語文学系 教授

## 1.はじめに

### 1.1 研究目的

本論文は日本語の「カ」型形容動詞研究の成果の一環である。現代日本の小説、新聞、雑誌、ラジオドラマのシナリオなどにおいて、次の用例のように「～ヤカ」型形容動詞が用いられている。

- (1)火が乾いていれば理性、靈魂は健やかであるが（北杜夫『楡家の  
人びと』100<sup>1)</sup>
- (2)私は程なく穏やかな眠に落ちました。（夏目漱石『こころ 下』  
100)
- (3)鮮やかな色彩、コロナ禍に自然への敬意を表現(朝日新聞  
2020/07/15)
- (4)（そばに置きたい）色鮮やかに見える(朝日新聞 2021/12/04)
- (5)当時、今のようなあでやかな振り袖は夢にも考えられませんでした。  
（毎日新聞 2003）
- (6)江戸の四季と女性 たおやかに 錦絵コレクション (朝日新聞  
2022/03/10)
- (7)コロナと経済 必要な支援を細やかに(朝日新聞 2021/02/07)
- (8)さわやかな気持ちで一年を始めるためにも、正月は劇場に出かけて  
みたらどうだろう。(毎日新聞 2003)
- (9)漆器のように黒く、しなやかな全身の毛が、木々の間を貫く北緯  
8度の強い日差しにきらめく。(毎日新聞 2003)
- (10)トルコ大統領、停戦のために速やかな措置を プーチン氏と会  
談(毎日新聞 2022/03/07)

---

<sup>1</sup> 「100」は新潮社（1995）『新潮文庫の100冊 CD-ROM版』のことを指す。

- (11)「茜色に焼かれる」 にこやかに闘う、覚悟の結晶(朝日新聞 2021/05/28)
- (12)玉置浩二 伸びやかで自然、圧巻の歌唱 (朝日新聞 2022/03/03)
- (13)病後のリハビリによる限られた生活空間の中で、歌はむしろ澄んだ広やかな世界へ向かっている。(毎日新聞 2003)
- (14)昔ながらの「甕仕込み」にこだわり、芳醇な風味と口当たりのまろやかさが持ち味。(毎日新聞 2022/02/06)
- (15)いつでも自らの道を、軽やかに進む。(『週刊朝日』2022年2月18日号、p.1)
- (16)彼は20歳そこそこながら、人間の心理をとっても細やかにわかる人だった。(『週刊朝日』2022年2月4日号、p.37)
- (17)社長なんてさ、(後略)結局ホッとできることなんてささやかなことなのかもしれないな。(西鉄ドラマ)
- (18)今日も爽やかな気持ちで日記をつけている。(西鉄ドラマ)
- (19)おしとやかで人と話す時は常に敬語。エッチな話などは絶対にできない超純情娘。(西鉄ドラマ)
- (20)そんな元気な方が多いんじゃ、明日の祭りも賑やかにやるんでしょね。(西鉄ドラマ)
- (21)私にはあなたの焼く磁器はどれも白く艶やかに輝いて見えます。(西鉄ドラマ)
- (22)曲流れ始める。華やかな店内のざわめき遠のく (西鉄ドラマ)  
お天気が良いと気持ちまで晴れやかになるわね。どうかした？  
(西鉄ドラマ)

これらの「～ヤカ」型形容動詞は日本語教育においてどのように位置づけられているのか、興味深いことなので考察する必要がある。そして、語根と表記の側面から考えてみれば、日本語には同根・同漢字表記の形容動詞と形容詞がある。例えば、「軽やか/軽い、細やか/細かい、涼やか/涼しい、華やか/華々しい、晴れやか/晴れ晴れしい、広やか/広い」など。いったい、日本語の同根・同漢字表記の形容動詞と形容詞はどれぐらいあるのか、またその異同点はどこにあるのか、

日本語学研究の立場から見ても、日本語と漢字共有の現象をもつ華語を生活言語とする台湾人日本語学習者のための日本語教育学の立場から見ても看過してはならないことである。この小論の主な目的は語彙調査における「～ヤカ」型形容動詞の位置づけ及びコーパスにおける「～ヤカ」型形容動詞の連体修飾及び連用修飾のコロケーションを考察することである。

## 1.2 コーパスとは

コーパスという語は英語の *corpus* に由来するが、その *corpus* はラテン語の *corpus*（発音はコルプス）に発する。20世紀後半からコンピュータが発達して、計算機から次第にデータ処理機械としての性格を帯びるようになるにつれて、1960年代からアメリカで言語分析への応用が始められた。1967年に発表されたブラウンコーパスがそのはしりである<sup>2</sup>。日本では、『竹取物語』や『伊勢物語』、『源氏物語』などを平安時代語の助動詞を調べる資料として使ったように、ある特定のテキスト群を資料として言語記述を行う計量的に処理して論を立てることが多い<sup>3</sup>が、20世紀の初めから、国語教育上の必要性から始められた語彙調査もその例である<sup>4</sup>。国立国語研究所で「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ:Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese)が発表されて以来、日本語コーパス言語学も本格的に確立し、日本語学研究でも日本語教育学研究でも重宝がられている<sup>5</sup>。「多言語母語の日本語学習者横断コーパス」(略称は I-JAS (International Corpus of Japanese as a Second Language))ができた後、台湾でも日本語教育における利用事例が多く見られる<sup>6</sup>。

<sup>2</sup> 後藤（2003）による。

<sup>3</sup> 高山（2003）を参照。

<sup>4</sup> 伊藤（2003）によれば、沢柳政太郎ほか（1919）『児童語彙の研究』、坂本一郎（1943）『日本語基本語彙幼年の部』、池原檜雄（1957）『国語教育のための基本語彙体系』などが代表的なものである。

<sup>5</sup> 『日本語学』2004年4月臨時増刊号にはコーパスによる文法研究、語彙研究、音声談話研究、文字研究の論述とともに、「コーパスによる日本語教育の研究」という論文も掲載されているように、コーパスによる研究は語学領域でも教育学領域でもいろいろ利活用できる。

<sup>6</sup> 例えば、東呉大学では2005年よりコーパス関連授業が設けられたが、それ

### 1.3 コロケーションとは

コロケーション (collocation) は成語 (idiom)、諺 (proverb)、格言 (maxim) などと同じように、言語の固定語式 (fixed expressions) の一つである。『現代言語学辞典』(田中春美編集、成美堂、1988)によれば、コロケーションは広義的には、文法的・意味的に関連する二語(以上)が結合して形成する語群を指し、一般言語学では「主語＋述語」、「他動詞＋目的語」、「前置詞＋目的語」、「修飾語＋被修飾語」などの構文成分及び慣用語などがその研究領域に属する。現代日本語学研究領域では、コロケーションは「連語」、「語群」、「語結合」とも呼ばれ<sup>7</sup>、自立語の結合体を指すが、これは単語と文の間にある言語単位である。日本では、奥田靖雄をリーダーとする研究の成果『日本語文法連語論(資料編)』<sup>8</sup>は修飾語と被修飾語の関係を考察し、結びつきの諸タイプが表されている論述である。そして、村木(2007)は現代日本語を対象とし、コロケーションを「自立的な単語のくみあわせで、命名(名づけ、現実のさししめし)の側面のみをになった文法的単位」と再定義したが、語彙的意味を持たない機能語(助詞、助動詞)、形式名詞((父の)こと)、補助形容動詞・補助形容詞((咲いて)いる、(言って)ほしい)を対象外にし、また、「決めてかかる」、「見てとる」のように見かけ上は単語をこえた形式ではあるが、意味的なまとまりと文法的な特徴にもとづけば、一単語とみなさなければならないもので、これもコロケーションではない、と述べた<sup>9</sup>。

### 1.4 「～ヤカ」型形容動詞の先行研究

「ユルヤカ」は「ユルス」などの動詞と同じように、引き締めずにゆとりのあるさまをいう「ユル」から派生した形容動詞であるが、更に「ユルヤカ」から形容詞「ユルカシ」、「ユルシ」が派生した<sup>10</sup>。

---

以来、コーパスが院生の学習やレポートの資料としてよく用いられている。

<sup>7</sup> 村木(2012)を参照。

<sup>8</sup> 言語学研究会編『日本語文法連語論』は1983年にむぎ書房によって出版された。

<sup>9</sup> 村木(2007)による。

<sup>10</sup> 吉田(2000)による。

「～ヤカ」型形容動詞の研究は文語に関するものはあるが、現代語についてのものは辞書の解説以外、あまり見られなかった。例えば、阪倉（1973）は古典文学における「～ヤカ」型形容動詞の使用状況を解説している。蜂矢（2010）では文語の「～ヤカ」の語幹の構成が取り上げられた<sup>11</sup>。日本語教育のために「～ヤカ」型形容動詞とその同根・同漢字表記形容詞「～イ」との比較の論述は管見の限りでは無かったようである。それは現代日本語における「～ヤカ」型形容動詞の生産性の乏しいことに関わっているかと思われるが、日本語学研究においても日本語教育指導においても看過されてはいけない課題である。

### 1.5 研究対象

日本語と華語における漢字共有の現象は台湾人日本語学習者にとっては、まさに諸刃の剣というようなものである。例えば、早稲田大学語学教育研究所でまとめられた『中国語と対応する漢語』（1978。文化庁）で提示されたように、日中同形語には意味が同じ語の外に、意味不同か一部しか意味が同じでない語もある<sup>12</sup>からである。それは漢語だけではなく、和語の漢字表記語でも同じようなことが言える。玉村（1997）で述べられたように、日本語においては和語は強い言葉である<sup>13</sup>。本論文では、まず、日本と台湾における日本語語彙調査の結果をチェックして、語彙表における「～ヤカ」型形容動詞の位置づけを明らかにした後、同根・同漢字表記の「～ヤカ」型形容動詞と「～イ」型形容詞の語対をリストアップし、語彙調査におけるそれぞれの位置づけを調べる。そして、「現代書き言葉均衡コーパス」における「～ヤカ」形式で一番使用頻度が高い「緩やか」<sup>14</sup>を対象に、「～名詞」形式、「～動詞」形式のコロケーションを考察する。

---

<sup>11</sup> 斎藤（2012）による。

<sup>12</sup> 台湾の華語から見れば『中国語と対応する漢語』の分類はまだ検討する必要がある。

<sup>13</sup> 詳しくは玉村文郎（1997）「和語は造語力が弱いのか」斎藤倫明・石井正彦編『語構成』東京：ひつじ書房、pp.101-116を参照されたい。

<sup>14</sup> 現代書き言葉均衡コーパスの検索エンジン NINJAJ による。

## 2. 語彙調査から見た「～ヤカ」型形容動詞

本節では日本と台湾で行われた日本語語彙調査の語彙表における「～ヤカ」型形容動詞を考える。

### 2.1 『分類語彙表 増補改訂版』の場合

日本・国立国語研究所の資料集として 1964 年に出された『分類語彙表』（秀英出版）は 2004 年に新語・複合語・サ変動詞・慣用句などを中心に増やした増補改訂版が出版された。採集された異なり語 79,517 語のうち、「～やか」型形容動詞は「鮮やか、艶やか、色鮮やか、穏やか、軽（かる）やか、煌びやか、事細やか、細（こま）やか、細（ささ）やか、さやか、爽やか、淑やか、姿やか、忍びやか、しめやか、健やか、涼やか、速やか、たおやか、慎ましやか、約やか、つややか、和やか、賑やか、にこやか、伸びやか、派手やか、華やか、晴れやか、密やか、秘めやか、冷ややか、広やか、実しやか、まめやか、円（まる）やか、雅やか、緩やか」の 38 語である。

### 2.2 「現代雑誌 200 万字言語調査」の場合

日本国立国語研究所の研究課題「現代日本語における書き言葉の実態解明と雑誌コーパスの構築」における「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」<sup>15</sup>の 55,222 語における形容動詞<sup>16</sup>は 1,408 語ある。そのうち、「～カ」型形容動詞は 64 語あるが、「～ヤカ」型形容動詞は「鮮やか、あでやか、色鮮やか、穏やか、軽やか、きらびやか、細（こま）やか、細（ささ）やか、爽やか、淑やか、しなやか、健やか、涼やか、速やか、たおやか、艶やか、和やか、なよやか、にぎやか、にこやか、伸びやか、華やか、晴れやか、ひそやか、冷ややか、広やか、まことしやか、まるやか、まるやか、雅びやか、緩やか」の 31 語である<sup>17</sup>。

### 2.3 基本語彙調査の場合

<sup>15</sup> 2001 年度～2005 年度実施、2006 年公開。2021 年 10 月 10 日最終閲覧。

<sup>16</sup> 「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」では見出し、語種、品詞、表記、全体度数、使用率、出現雑誌数、本文度数、雑誌分野別などの情報が記されている。

<sup>17</sup> 「にぎやか」は「賑やか」、「ひそやか」は「密やか」、「まことしやか」は「実しやか」、「まるやか/まるやか」は「円やか」のように表記されることも考えられるが、本論文では「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」の表記に従って仮名表記のままにする。

日本では上述した雑誌における語彙調査の外に、教育のための基本語彙調査も行われ、計算機用日本語基本辞書も出された。台湾でも日本語教育の基本語彙や大学入試のための基本語彙が考案されたことがある。以下、年代順でそれらにおける「～ヤカ」型形容動詞について考察する。

#### (A) 東京外国語大学 (1970年) 「日本語基本語彙」

東京外国語大学では1970年に中国語、英語、ロシア語、インド語、アラビア語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、インドネシア語を参考に日本語の基本語彙2000語が選定された。そのうち、「～ヤカ」型形容動詞は「賑やか」の1語しか見られなかった<sup>18</sup>。

#### (B) 国立国語研究所 (1982) 『日本語教育基本語彙七種比較対照表』

1982年に大蔵省印刷局によって出版された『日本語教育基本語彙七種比較対照表』は国立国語研究所日本語教育センターで行われた「日本語教育のための基本的な語彙に関する調査研究」及び「日本語教育のための基本的な語彙に関する比較・対照研究」の成果の一部である<sup>19</sup>。いろいろな語彙表を比較した結果によって出されたこの基本語彙表に掲載された「～ヤカ」形容動詞は「穏やか、賑やか、緩やか」の3語である。

#### (C) 情報処理振興事業協 (1997) 『CD-ROM版 計算機用日本語基本辞書 IPAL—動詞・形容詞・名詞—』

<sup>18</sup> 蔡茂豊『日語基本語彙二千字』「寫在前面」による。

<sup>19</sup> 『日本語教育基本語彙七種比較対照表』「はしがき」によれば、比較資料は次の七種である。(イ)岡本禹一(1944)『日本語基本語彙』(国際文化振興会)、(ロ)加藤彰彦(1963～4)「日本語教育における基礎語学習」(『日本教育』第2号及び第3・4合併号、日本語教育学会)、(ハ)玉村文郎(1970、1978) *Practical Japanese-English Dictionary* (海外技術者研修協会)、(ニ)樺島忠夫・吉田彌壽夫(1971)「留学生教育のための基本語彙表」『日本語・日本文化』第2号、大阪外国語大学研究留学生別科)、(ホ)文化庁国語課(1971、1975)『外国人のための基本語用例事典』、(ヘ)J.V.Neustupuny(1977) *A Classified List of Basic Japanese Vocabulary* (Monash University, Department of Japanese, Melbourne)、(ト)国立国語研究所日本語教育センター(1978)『日本語教育基本語彙第一次集計資料—2,000語』(第一研究室内部資料)、(チ)国立国語研究所日本語教育センター(1979)『日本語教育語彙資料(1)(2)—低学年500語』、(リ)志部昭平(1980)『日本人の知識階層における話しことばの実態—語彙表』(文部科学研究費特定研究「日本語教育のための言語能力の測定」研究報告、及び資料集第2輯)。

『CD-ROM版 計算機用日本語基本辞書 IPAL—動詞・形容詞・名詞—』は情報処理振興事業協が1997に出されたものである。「～ヤカ」形容動詞は「すこやか、さわやか、おだやか、すみやか」の4語が掲載された。

**(D) 国立国語研究所 (2001)『教育基本語彙の基本的研究 教育基本語彙データベースの作成—』**

国立国語研究所報告117『教育基本語彙の基本的研究—教育基本語彙データベースの作成—』は戦後、日本で刊行された7種の教育用の基本語彙を比較対照できるように一覧表にまとめられたものである。「艶やか、穏やか、軽やか、煌びやか、細(こま)やか、清か、爽やか、淑やか、姿やか、しめやか、健やか、速やか、艶やか、和やか、賑やか、にこやか、派手やか、華やか、晴れやか、密やか、冷ややか、実しやか、雅やか、緩やか」の24語の「～ヤカ」型形容動詞が選定されている。

**(E) 日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会 (2014)『新訂品詞別・1級～5級別 1万語語彙分類集』<sup>20</sup>**

これは日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会の内部資料として1991年に刊行され、1998年に改訂された新訂版である。日本語能力検定試験対応の分類語彙表であるが、「～ヤカ」形容動詞は「鮮やか、穏やか、細(こま)やか、細(ささ)やか、爽やか、淑やか、しなやか、健やか、速やか、和やか、賑やか、にこやか、伸びやか、華やか、緩やか」の15語が見られる。

一方、台湾では次の2つの日本語教育基本語彙調査がある。

**(F) 大考中心 (2005～2009)「基本語彙2000」**

財団法人「大學入學考試中心基金會」(略称「大考中心」)は2005～2009年に、大学入試科目における、英語以外の外国語科目の導入に備えて「第二外語日語考科試題研發計畫」が行われた。その際、

---

<sup>20</sup> NAT-TESTの由来はNihongo Achievement Test(日本語学力テスト)である。

台湾で使われた初級教科書<sup>21</sup>における語彙と文法事項が参考にされたが、そのうち、「～ヤカ」形容動詞は「賑やか」の 1 語だけである。

### (G) 国立臺南高級商業職業學校 (2015) 『日語基本語彙』

上述の大学入試センター研究計画で考案された日本語基本語彙は総合大学に進学する普通高校生の日本語教育のためのものだったが、教育部技術型高級中等学校「外語群群科中心」で選定された、職業高校での日本語教育のための基本語彙は、『大家的日本語 (株式会社スリーエーネットワーク編、大新書局出版)、『來學日本語 (尚昂出版社)』及び国立国語研究所「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」のうち、2 種類に使われた語を対象に選定された 1685 語である。そのうち、「～ヤカ」形容動詞は「爽やか、賑やか」の 2 語があるが、例文には「穏やか」も使われている。

## 2.4 しめくくり

### 2.4.1 語彙表の共通する語彙

上述した教育基本語彙と「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」及び日本語の類義語集『分類語彙表 増補改訂版』における「～ヤカ」型形容動詞の共通語をまとめてみると表 1 のようになる。

語彙表における「～ヤカ」型形容動詞は表 1 を見て分かるように、『分類語彙表』には 38 語、「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」には 31 語あるが、日本での基本語彙調査では東京外国語大学「日本語基本語彙」には 1 語、国立国語研究所『日本語教育基本語彙七種比較対照表』には 3 語、情報処理振興事業協『CD-ROM 版 計算機用日本語基本辞書 IPAL－動詞・形容詞・名詞－』には 4 語、国立国語研究所『教育基本語彙の基本的研究 教育基本語彙データベースの作成一』に

<sup>21</sup> 大考中心 (2005～2009) の「基本語彙 2000」選定において参考になった教科書は以下のようなものである。(い) 盧美芳(2002)『高級中學日語第一冊』(尚昂文化)、(ろ) 財団法人海外技術者研修協会 (2003)『新日本語の基礎I』(大新書局)、(は) 呂惠莉 周明毅 康妙齡(1999)『新實用日本語會話I』(銘薪份有限公司)、(に) 新井芳子(2001)『輕鬆學日文 (入門篇)』(允晨文化)、(ほ) 蔡愛芬 ほか(2002)『日本語大丈夫』(新文京開發出版)、(へ) 株式会社スリーエーネットワーク(2003)『大家的日本語初級I』(大新書局)、(と) 株式会社スリーエーネットワーク(2002)『大家的日本語初級II』(大新書局)、(ち) 株式会社スリーエーネットワーク(2002)『大家的日本語進階I』(大新書局)、(り) 株式会社スリーエーネットワーク(2002)『大家的日本語進階II』(大新書局)。

は 26 語、日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会には『品詞別・1 級～5 級別 1 万語語彙分類集』には 15 語ある。一方、台湾での基本語彙調査では大考中心「基本語彙 2000」には 1 語、頼錦雀監修・国立臺南高級商業職業學校（2015）『日語基本語彙』には 2 語ある。

共通する語彙（以下、共通語彙）から見れば、9 種類の共通語彙はなかった。8 種類の語彙表に選定されたのは「賑やか」である。『CD-ROM 版 計算機用日本語基本辞書 IPAL－動詞・形容詞・名詞－』だけ見られなかったのである。7 種類の語彙表の共通語彙は「穏やか、爽やか」、6 種類の共通語彙は「緩やか」、5 種類の共通語彙は「健やか、速やか」、4 種類の共通語彙は「細（こま）やか、淑やか、しなやか、和やか、にこやか、はなやか」、3 種類の共通語彙は「鮮やか、あでやか、細（こま）やか、艶やか、伸びやか、晴れやか、密やか、冷ややか、実しやか、雅やか」、2 種類の共通語彙は「色鮮やか、軽（かる）やか、きらびやか、さやか、しめやか、涼やか、たおやか、派手やか、広やか、円（まる）やか」である。共通語のない語は「軽（かる）やか、事細やか、忍びやか、慎ましやか、約やか、なよやか、秘めやか、まめやか、円（まる）やか」である。ちなみに、「～ヤカ」型形容動詞が一番多い『分類語彙表』（38 語）には、ほかの語彙表に見られた「かるやか、なよやか、まるやか」の 3 語は観察されなかった。級別から見た場合、NAT-TEST の 15 語のうち、1 級語彙は 6 語、2 級語彙は 6 語、3 級語彙は 2 語、5 級語彙は 1 語ある。

（表 1）日本語教育基本語彙と日本語語彙資料における  
「～ヤカ」型形容動詞の共通語（50 音順）

「～ヤカ」型 形容動詞	分類 語彙表	2006 年 200 万字	2001 年 基本 語彙	1970 年 基本 語彙	1982 年 7 種基 本語彙	1997 年 IPAL	2014 年 1 万語	2005 年 大考 中心	2015 年 日語基 本語彙	共通 種類
あざやか	○	○					○			3
あでやか	○	○	○							3
いろあざやか	○	○								2
おだやか	○	○	○		○	○	○		(△)	7
かるやか			○							1
かるやか	○	○								2
きらびやか	○		○							2

ことこまやか	○									1
こまやか	○	○	○				○			4
ささやか	○	○					○			3
さやか	○		○							2
さわやか	○	○	○			○	○	○	○	7
しとやか	○	○	○				○			4
しなやか	○	○	○				○			4
しのびやか	○									1
しめやか	○		○							2
すこやか	○	○	○			○	○			5
すずやか	○	○								2
すみやか	○	○	○			○	○			5
たおやか	○	○								2
つつましやか	○									1
つづまやか	○									1
つややか	○	○	○							3
なごやか	○	○	○				○			4
なよやか		○								1
にぎやか	○	○	○	○	○		○	○	○	8
にこやか	○	○	○				○			4
のびやか	○	○					○			3
はでやか	○		○							2
はなやか	○	○	○				○			4
はれやか	○	○	○							3
ひそやか	○	○	○							3
ひめやか	○									1
ひややか	○	○	○							3
ひろやか	○	○								2
まことしやか	○	○	○							3
まめやか	○									1
まるやか		○								1
まろやか	○	○								2
みやびやか	○	○	○							3
ゆるやか	○	○	○		○		○	○		6
合計語数	38	31	24	1	3	4	15	3	2	121

注：「○」は「～ヤカ」型形容動詞があること、(△)は見出し語ではないが、例文に出たことを表す。

(表 2) 日本語教育基本語彙と日本語語彙資料における「～ヤカ」型形容動詞の共通語 (共通種類数)

「～ヤカ」型 形容動詞	分類 語彙表	2006年 200万語	2001年 基本 語彙	1970年 基本 語彙	1982年 7種基 本語彙	1997年 IPAL	2014年 1万語	2005年 大考 中心	2015年 日語基 本語彙	共通 種類
にぎやか	○	○	○	○	○		○	○	○	8
さわやか	○	○	○			○	○	○	○	7
おだやか	○	○	○		○	○	○		(△)	7
ゆるやか	○	○	○		○		○	○		6
すこやか	○	○	○			○	○			5
すみやか	○	○	○			○	○			5
こまやか	○	○	○				○			4
しとやか	○	○	○				○			4
しなやか	○	○	○				○			4
なごやか	○	○	○				○			4
にこやか	○	○	○				○			4
はなやか	○	○	○				○			4
あざやか	○	○					○			3

あでやか	○	○	○							3
ささやか	○	○					○			3
つややか	○	○	○							3
のびやか	○	○					○			3
はれやか	○	○	○							3
ひそやか	○	○	○							3
ひややか	○	○	○							3
まことしやか	○	○	○							3
みやびやか	○	○	○							3
いろあざやか	○	○								2
かるやか	○	○								2
きらびやか	○		○							2
さやか	○		○							2
しめやか	○		○							2
すずやか	○	○								2
たおやか	○	○								2
はでやか	○		○							2
ひろやか	○	○								2
まろやか	○	○								2
ことこまやか	○									1
しのびやか	○									1
つつましやか	○									1
つづまやか	○									1
ひめやか	○									1
まめやか	○									1
かるやか			○							1
なよやか		○								1
まるやか		○								1

注：「○」は「～ヤカ」型形容動詞があること、(△)は見出し語ではないが、例文に出たことを表す。

(表 3) 日本語能力検定試験から見た「～ヤカ」型形容動詞

形容動詞	級別		形容動詞	級別	
	NAT-TEST	旧日能試		NAT-TEST	旧日能試
鮮やか	2	1	速やか	1	1
穏やか	3	2	和やか	2	1
細(こま)やか	2	1	賑やか	5	4
細(ささ)やか	1	なし	にこやか	2	なし
爽やか	3	2	伸びやか	1	なし
淑やか	1	1	華やか	2	1
しなやか	1	1	緩やか	2	1
健やか	1	1			

(『品詞別・1級～5級別 1万語語彙分類集』による)

#### 2.4.2 同根・同漢字表記の形容詞との量的比較

語根と漢字表記から見た場合、「軽やか/軽い、細やか/細かい、涼やか/涼しい、華やか/華々しい、晴れやか/晴れ晴れしい、広やか/広い、円やか/円い、緩やか/緩い」のような「～ヤカ」型形容動詞とその同根・同漢字表記の形容詞の語対が見られる。「現代雑誌200万字言

語調査語彙表」によれば、それぞれの使用順位は表 4 のように表示される<sup>22</sup>。

「～ヤカ」型形容動詞の使用順位がその同根・同漢字の形容詞より高いのは「華やか、晴れやか、緩やか」であるが、「緩やか」の同根・同漢字の形容詞「緩い」は単純語で、「華やか、晴れやか」の同根・同漢字の形容詞「華々しい、晴れ晴れしい」は派生語である。

(表 4) 「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」における「～ヤカ」型形容動詞とその同根・同漢字表記の形容詞の使用順位

形容動詞	使用順位	形容詞	使用順位
軽(かる)やか	3903	軽い	605
細やか	8566	細かい	1924
涼やか	30357	涼しい	4794
華やか	2483	華々しい	30357
晴れやか	16695	晴々しい	30357
広やか	30357	広い	648
円(まる)やか	30357	円い	—
円(まる)やか	9490		
緩やか	4387	緩い	4575

### 3. コロケーションから見た「～ヤカ」型形容動詞

本節では現代書き言葉均衡コーパスにおける「～ヤカ」型形容動詞の「～な名詞」形式と「～に動詞」形式のコロケーションの使用状況を見た後、使用頻度が一番高い「緩やか」を例に、「～ヤカ」型形容動詞の「～な名詞」形式と「～に動詞」形式を考察する。考察に当たり、「緩い」との比較も視野に入れる。

#### 3.1 「～ヤカ」型形容動詞の量的考察

NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) で見た現代書き言葉均衡コーパスにおける「～ヤカ」型形容動詞のコロケーション「～な名詞」形式と「～に動詞」形式の使用状況は表 5 のようである<sup>23</sup>。表 5 を見て分かるように、使用頻度で一番高いのは「緩やか」であり、次は「華やか、軽(かる)やか、円(まる)やか、細やか、晴れやか、涼やか、広やか、円(まる)やか、軽(かる)やか」の順である。但し、

<sup>22</sup> 「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」には「丸い」の項目は見られなかった。

<sup>23</sup> NINJAL-LWP for BCCWJ で考察した結果である。NINJAL-LWP for BCCWJ (以下、NLB) は、日本・国立国語研究所が構築した『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese: BCCWJ) を検索するために、国語研と Lago 言語研究所が共同開発したオンライン検索システムである。

今回の調査では「軽（かる）やか」の用例は観察されなかった。

(表 5) 「現代書き言葉均衡コーパスにおける「～ヤカ」型形容動詞

「～ヤカ」型 形容動詞	使用頻度	～な名詞		～に動詞	
		延べ語数	異なり語数	延べ語数	異なり語数
軽（かる）やか	0	0	0	0	0
軽（かる）やか	373	122	87	159	103
細やか	211	137	77	30	24
涼やか	66	36	31	13	13
広やか	9	8	8	1	1
円（まる）やか	1	1	1	0	0
円（まる）やか	276	120	61	43	8
緩やか	1210	584	232	382	157
華やか	1123	581	334	200	78
晴れやか	126	69	31	28	18

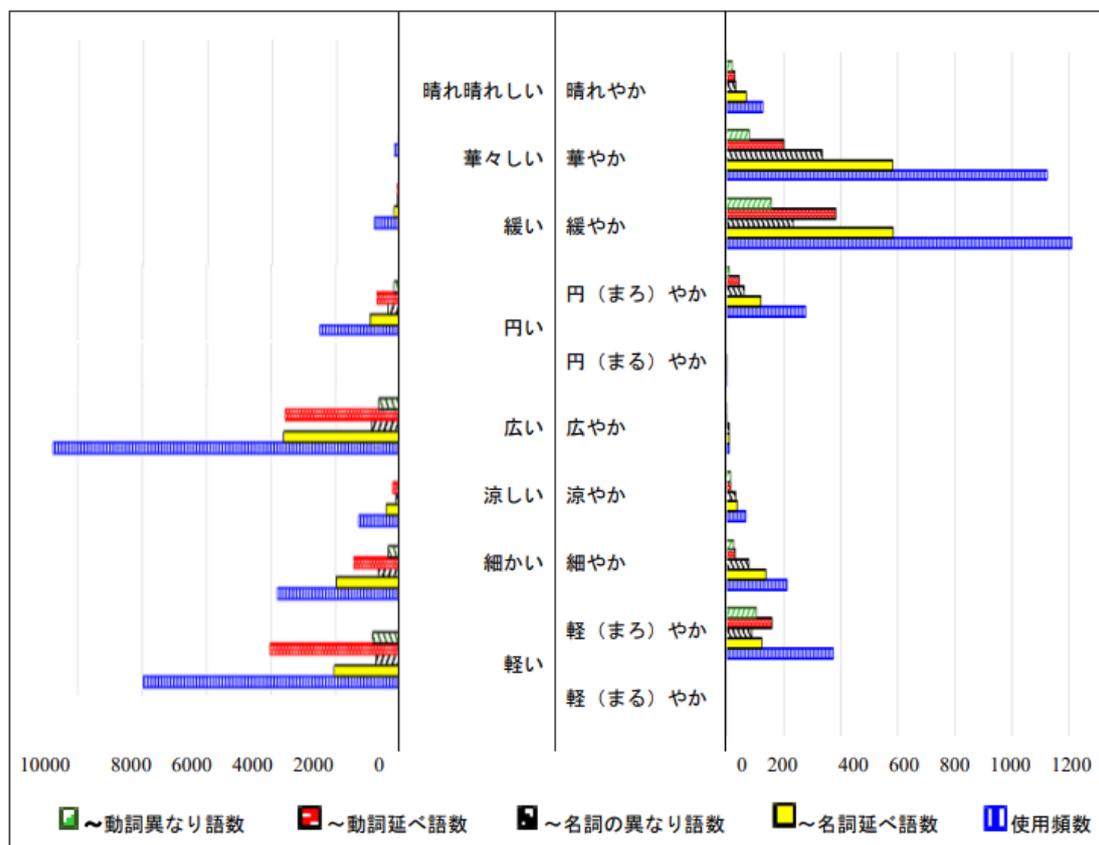
(NLB によって筆者作成)

コロケーション「～な名詞」における延べ語数の順番は「緩やか、華やか、細やか、軽（かる）やか、円（まる）やか、晴れやか、涼やか、広やか、円（まる）やか、軽（かる）やか」であるが、その異なり語数では「華やか」はトップで、あとは「緩やか、軽（かる）やか、細やか、円（まる）やか、涼やか＝晴れやか、広やか、円（まる）やか、軽（かる）やか」の順である。但し、「晴れやか」と「涼やか」は同頻度であるが、「円（まる）やか」は1例、「軽（かる）やか」は見られなかった。

コロケーション「～に動詞」における延べ語数の順番は「緩やか、華やか、軽（かる）やか、円（まる）やか、細やか、晴れやか、涼やか、広やか、円（まる）やか＝軽（かる）やか」であるが、「円（まる）やか」も「軽（かる）やか」も用例は観察されなかった。そして、その異なり語数は「緩やか、軽（かる）やか、華やか、細やか、晴れやか、涼やか、円（まる）やか、広やか、軽（かる）やか＝円（まる）やか、」の順である。但し、「広やか」は1例しかなく、「軽（かる）やか」、「円（まる）やか」は観察されなかった。

ちなみに、NLB によって量的に見た「現代書き言葉均衡コーパス」における「～ヤカ」型形容動詞のコロケーション「～な名詞」、「～に動詞」とそれぞれの同根・同漢字形容詞のコロケーション「～い名詞」、「～く動詞」を合わせて図示すれば、図1のようにまとめられ

る。



(図 1) 「現代書き言葉均衡コーパスにおける「～ヤカ」型形容動詞とその同根・同漢字形容詞 (NLB によって筆者作成)

### 3.2 コロケーションから見た「緩やかな+名詞」形式

現代書き言葉均衡コーパスにおけるコロケーション「緩やかな+名詞」形式は 218 種類(異なる語数)<sup>24</sup>観察された。その共起名詞を意味類型<sup>25</sup>で見ると、事柄(「物」など 4 語)、類(「基準」など 10 語)、存在(「回復」)、様相(「雰囲気」など 11 語)、作用(「変化」など 42 語)、時間(「時間」など 7 語)、空間(「稜線」など 18 語)、形(「弓形」など 10 語)、量(「角度」など 3 語)、公私(「街」など 2 語)、機関(「連合」など 11 語)、心(「感覚」など 16 語)、言語(「マップ」)、芸術(「音楽」など 4 語)、生活(「巡礼」など 2 語)、行為(「動作」など 5 語)、交わり(「関係」など 7 語)、待遇(「規制」など 4 語)、経済(「デフレ」など 3 語)、事業(「現地企業」など 5 語)、衣

<sup>24</sup> NLB 資料の「誤判定」を削除した考察結果である。

<sup>25</sup> 国立国語研究所『分類語彙表 増補改訂版』の分類による。

料（「寛衣」など4語）、食料（「食品」など2語）、住居（「階段」など5語）、道具（「パン（カメラ用語）」）、土地利用（「道」など8語）、物資（「風」など6語）、天地（「丘」など22語）、身体（「巻き毛」）、生命（「呼吸」など3語）のように分けられる(例文23～51を参照されたい)<sup>26</sup>。

(23) 食糧やエネルギーの消費を軽減する人口減も少しずつ、緩やかな物であれば、今は目指す方向と考えなければならない。

(Yahoo!ブログ、2008、Yahoo!ブログ)

(24) さらに、東京都などの自治体は、無認可保育所に緩やかな基準に基づく認証を与える制度を設けた。(大村敦志著『生活のための制度を創る』、2005、324)

(25) 緩やかな回復が続く西ヨーロッパ経済(通商白書、1985)

(26) ざっくりと編み込まれたストローハットはレイヤードの緩やかな雰囲気がぴったり(Boon (ブーン) 2004、家庭／生活)

(27) 彼女は夫が逝ってから、ひとりで台所にいることが多く、何か緩やかな変化の中でしか生きていないようだ。(坂上弘著『台所』、1997、913)

(28) 緩やかな時間が心地良く、くすぐられるよう(Yahoo!ブログ、2008、文学)

(29) 「地」は、重なり合う山々のゆるやかな稜線と、冬枯れの木々生える川中の浮島のシルエットである。(森下尊久著『神戸発、尾道まで行ってきます』、2001、686)

(30) 更にその上に、人工的に砕いた小さな石を敷き詰めてゆるやかな弓形を創りあげたのです。(Yahoo!ブログ、2008、ビジネス)

(31) ゆるやかな角度で体を支え、機能性と美しさが同居します。(新しい住まいの設計、2005、家庭／生活)

(32) 1週間という滞在期間はあの緩やかな街には短すぎたように思う。(Olive、2002、一般)

---

<sup>26</sup> 下線は引用者による。下線部は被修飾語である。

- (33) 2 は関東側から明治大の桜井一郎氏が報告され、全国組織を各地区協議会の「ゆるやかな連合」と性格つけた。(国庫助成に関する全国私立大学教授会連合編『私立大学の未来』、2004、377)
- (34) 雅楽の場合、平安貴族は緩やかな感覚でめりはりをつけたと思う。(家庭画報、2003、一般)
- (35) で、老後の設計であるが、無理のない緩やかなマップを作り、徐々に埋めていくというやり方をとりたい。(西村玲子著『おしゃれの賞味期限』、2003、593)
- (36) (前略)テンポは、1分間に50小節ぐらいに演奏される早ものもあれば、30小節ぐらいのゆるやかな音楽もあります。  
(竹村孝著『はじめての人のダンス・レッスン』、1993、799)
- (37) 行尊のころは本当の苦行だったのが、しだいに緩やかな巡礼になり、鎌倉時代を経て室町時代に入りますと、一般庶民まで巡礼をするようになります。(五来重著『霊場巡礼』、1995、185)
- (38) しかし、今まで化石みたいに動かなかった亜紀子の同輩たちが、長い冬眠から醒めた動物のように緩やかな動作を始め、そのいずれもの視線が亜紀子に向かって(後略)(日高道夫著『友達』、2002、913)
- (39) 提携関係を明示するために主として契約を締結するが、合併などと違い互いに独立性を保持したまま、ゆるやかな関係が維持される。(伊吹六嗣、坂本光司編著『現代企業の成長戦略』、2001、336)
- (40) ナーのなかでも、タブーといえるほどきびしい禁止条項もありますが、まあどちらでもよいというほどの、ゆるやかな規制条項もあります。(石毛直道ほか編『梅棹忠夫著作集』、1991、081)
- (41) この点で、緩やかなデフレが日本経済に望ましくないとすれ

ば、金融政策を積極的に活用する根拠となる。(北坂真一著『現代日本経済入門』、2001、332)

- (42) 日本国内において環境問題で工場の操業が立ち行かなくなると、海外に工場を移したり、環境規制の緩やかな現地企業と共同出資して会社の経営を継続したのです。(澄田新、磯貝暁成共著『生きるってなんだ』、2002、193)
- (43) ヘロデ王の居間の空気を僅かに快い緊張で充たすように、一人の人物が緩やかな寛衣の衣擦れの音をさせて足早に入って来るのが見えた。(曾野綾子著『狂王ヘロデ』、2001、913)
- (44) 缶詰やレトルトのように品質劣化が緩やかな食品に対しては賞味期限(品質保持期限)が、弁当などのように製造日を含め5日以内で期限になる食品に対しては消費期限を表示している(Yahoo!知恵袋、2005、言葉、語学)
- (45) ゆるやかな階段を昇る。(大沢在昌著『深夜曲馬団』、1998、913)
- (46) 主な理由は『イワンの子供時代』が『アンドレイ・ルブリョフ』以降の哲学的・芸術的省察を含んだセルフを持たず、『惑星ソラリス』以降に顕著な長回しや緩やかなパン、ドリーを用いていないことだろう。(馬場広信著『タルコフスキー映画』、2002、778)
- (47) 極楽平からゆるやかな道を進んでいく。(Yahoo!ブログ、2008、Yahoo!ブログ)
- (48) 川口の岸辺のごろた石は青海苔に覆われ、なつかしい海のおいがゆるやかな風にのって流れてくる。(津本陽著『龍馬』、2001、913)
- (49) 静岡大学構内のビオトープ(静大ビオトープと呼ぶことにします)の建設を予定した場所は有度山の南のはずれで、ゆるやかな丘にかこまれた平坦な草地でした。(『みんなでつくるビオトープ入門』、1996、519)

(50) ディオンは、ゆるやかな黄金色の巻き毛を指で掻き回しながら答える。(竹河聖著 『ステュクスの一族』, 1994, 913)

(51) また、太極拳は腹式呼吸と胸式呼吸との両方を使うことによる深く長い細く緩やかな呼吸による。(梁薇著 『太極拳への誘い』、2004、789)

コロケーション「緩い+名詞」形式に比べてみると、両語の共通共起名詞は「の、もの、ほう、ため、景気、弛み、上がり、運動、勾配、傾斜、カーブ、流れ、下がり、登り、起伏、ウエーブ、速度、ところ、曲線、弧、地域、斜面、形、入射角、協議体、リズム、規制、うねり、傾斜地、丘陵、坂、上がり坂、下り坂、谷、川、感じ」などの36語が見られた(表6を参照されたい)。

### 3.3 コロケーションから見た「緩やかに+動詞」形式

現代書き言葉均衡コーパスにおけるコロケーション「緩やかに+動詞」形式の共起動詞は157語(異なる語数)観察された。意味類型<sup>27</sup>で見ると、類(「対応する」など2語)、存在(「実現する」など12語)、様相(「攪拌する」)、力(「盛り上がる」)、作用(「変わる」など103語)、時間(「あける」)、空間(「向かう」)、心(「歌う」など15語)、芸術(「描く」)、生活(「横たえる」など5語)、行為(「行う」など4語)、交わり(「訪れる」など2語)、待遇(「規制する」など2語)、経済(「運用する」など2語)、事業(「運ぶ」)、自然(「きらめく」)、物質(「燃焼する」)、生命(「窒息する」)のように分けられる。コロケーション「緩く+動詞」形式に比べてみると、両語の共通共起動詞は「振る、揺れる、回る、舞う、傾斜する、かける、曲がる、登る、流れる、結ぶ、起伏する、曲げる、なる、描く、する、行う」の16語である(表6を参照されたい)。

(52) 丹念に手縫いされたネクタイは自由に伸縮し、様々な部分にかかるテンションにも緩やかに対応する。(MEN'S CLUB、2001、家庭／生活)<sup>28</sup>

<sup>27</sup> 国立国語研究所『分類語彙表 増補改訂版』の分類による。

<sup>28</sup> 例文における二重下線は「緩やか」が修飾する動詞である。以下同。

- (53) 統一はかれをみすごして、ゆるやかに実現する。(樺山紘一著『宮廷びとの生活術』、1997、230)
- (54) が放卵した卵を水槽へ回収し、この中へ精子懸濁液を添加し緩やかに攪拌する。(本川達雄編著『ヒトデ学』、2001、484)
- (55) それに、ゆるやかに盛り上がったり、くぼんだりするモノの形に沿って、ゆっくりと手を這わせていると(後略)(佐藤亜有子著『首輪』、1998、913)
- (56) 現在では、服装や髪型に対する規制はかつてよりもゆるやかに変わりつつあるといわれる。(荻谷剛彦ほか著『教育の社会学』、2000、371)
- (57) しだいに、ゆるやかに夜があけてゆこうとしていた一少づつ東の空が明るくなってゆく。(栗本薫『野望の序曲』、1997、913)
- (58) そんな強大な国一昇る陽のような国を相手に、ゆるやかに落日にむかう国を背負って、玄は戦をしなければならないのです。(井上祐美子著『柳絮』、1997、913)
- (59) しつ歌と呼ぶのは、調べをゆるやかにしつとりと歌うところから名付けられたのじゃ。(三浦佑之訳・注釈『古事記』、2002、913)
- (60) 海に向ってゆるやかに放物線を描いて下りつづける丘は、いちめん住宅の屋根で覆われ、雲間をもれる淡い銅色の光をうけて、猪というよりはアルマジロの肌にちかい。(安部公房著『方舟さくら丸』、1984、913)
- (61) 女僧は、ゆるやかに体を床上に横たえ、(邦光史郎著『楠木正成』、1990、913)
- (62) 『世界』における小説の再定義は、小説を書く書き方を通して、時間をかけてゆるやかに行われていったように思われる。(岩波書店 編集部編『戦後短篇小説選』、2000、913)
- (63) いずれゆるやかに死が訪れるのだから、わざわざ死神の来訪を告げることもないと。(桑原一世著『最後の王様』、1988、913)

- (64) 恣意的で部分的な規制ではなく、全体を緩やかに規制する。  
(福田和也著 『「日本」を超えろ』、1999、304)
- (65) この理由は障害年金受給要件である廃疾認定基準が緩やかに運用されていること及び受給資格期間が老齢年金の場合は最低15年である(厚生白書、1977)
- (66) 龍馬は背後の闇に気を配りつつ、ゆるやかに足をはこぶ。  
(津本陽著 『龍馬』、2005、913)
- (67) ゆるやかに、彼女はきらめいた。(赤江瀑著 『風幻』、1992、913)
- (68) これがさびと言われるもので、さびは金属と空気中の酸素が結びついて、ゆるやかに燃焼した結果できた化合物なのです。  
(科学読物研究会編 『科学あそびだいすき』、2005、407)
- (69) 緩やかに窒息していくと、脳は酸素欠乏状態になり、けいれん発作を起こす(ムーン・グッチン著、上野正彦訳 『美しき死体のサラン<純愛>』、2004、498)

### 3.4 しめくくり

NLB で調べた現代書き言葉均衡コーパスにおけるコロケーション「緩やかな+名詞」と「緩やかに+動詞」をコロケーション「緩い+名詞」、「緩く+動詞」に比べた結果を表示すると表6のようになる。

(表6) 現代書き言葉均衡コーパスにおける「緩やかな/緩い+名詞」と「緩やかに/緩く+動詞」

意味分類	～名詞		～動詞	
	緩やかな～	緩い～	緩やかに～	緩く～
事柄	の、もの、ほう、物	の、もの、ほう、こと、前者		
類	ため、一定の基準、条件、供与条件、変更パターン、要件、原因、基準、関わり合い、関連	ため、せい、まま、わけ、自主基準、連結	対応する、連携する	結合する
存在	回復	仕上がり、組織	ござる、実現する、現れる、回復する、戻る、醸成する、形成する、立ち上がる、保つ、カットする、抜ける	立つ、押さえる
様相	景気、弛み、低下傾向、傾き、縮小傾向、空気が、霧、調子、固有信仰の体系、仕組み、体制	よう、景気、弛み	攪拌する	張る



	リット方式、制度、戦略、政策、監視			
言語	マップ	語呂、序、番組		書く
芸術	リズム、音楽、アリア、メロディー	リズム	描く	編む、描く
生活	巡礼。伸び	パーマ、筋トレ	カールする、横たえる、もたげる、撫でる、撫で下す	締める、脱げる、握る、愛える、撫する、啜る
行為	指使い、動作、態度、振る舞い、課題の実行		行う、なす、やる	行う
交わり	関係、ネットワーキング、連携、意図、結合	協力	訪れる、守る	
待遇	規制、金融抑圧、会運営、運営	規制、政治	規制する、解禁する	
経済	デフレ、インフレーション、物価の下落		運用する、下落する	
事業	現地企業、治療、照明、対処、保護措置		足を運ぶ	
物品		物件		
資材		ピン、ひも		
衣料	フランネルの服、寛衣、袖口、チャイナドレス	服、ブラウス、スカート、帯、ブーツ		
食料	(食の上質な) 食物が劣化する (緩やかな) 食生活	粥、ペーパースト、カレー、水餃子、カスタード、プリン、薬		
住居	木の階段、階段、屋根、壁、梯子	アーチ		
道具	パン	はさみ、球		
土地利用	土の道、道、県道、林道、石段の参道、参道、太鼓橋、柵	石畳		
自然		とろみ、光	きらめく	
物質	うねり、風、霧、雪、波、冷却	うねり、電子、アスファルト、岩、砂、泥、渦	燃焼する	溶く
天地	傾斜地、丘陵、上り坂、下り坂、坂、谷、川、こぶ、ビーク、フレア、大陸、地形、山裾、尾根、丘、高原、盆地、上の谷間、沢、大河、山並み、山頂、七つ森	傾斜地、丘陵、上り坂、坂、下り坂、坂、谷、川、平地		
身体	黄金色の巻き毛	ボディ、毛、便		
生命	古い、息、呼吸	陣痛、痛み	窒息する	

(太字の語例は共通語彙である。NLBの2022年2月19日の最終閲覧資料による。意味分類は『分類語彙表 増補改訂版』を参照)

意味類型から見ると次のようなことが分かる。コロケーション「緩やかな名詞」と「緩い名詞」における共通の意味類型<sup>29</sup>は「事柄、類、

<sup>29</sup> 意味類型の項目は『分類語彙表 増補改訂版』の中項目による。

存在、様相、作用、時間、空間、形、量、公私、心、言語、芸術、生活、交わり、待遇、衣料、食料、住居、道具、土地利用、物質、天地、身体、生命」の 25 項目であり、「緩やかな名詞」形式だけの項目は「機関、行為、経済、事業」で、「緩い名詞」形式にあつて「緩やかな名詞」に見られなかった項目は「人間、社会、物品、材質、自然」の項目である。一方、コロケーション「緩やかな動詞」と「緩く動詞」における共通の意味類型は「類、存在、様相、作用、時間、心、芸術、生活、行為、物質」の 10 項目で、「緩やかに動詞」形式だけの意味類型は「力、空間、交わり、待遇、経済。事業、生命」の項目で、「緩い名詞」形式にあつて「緩やかな名詞」に見られなかった意味類型は「言語」の項目だけである。

#### 4. おわりに

本論文では同根・同漢字表記の形容詞との比較を考慮に入れて、語彙調査における「～やか」型形容動詞の位置づけを考察した後、使用頻度の高い「緩やか」を対象に、コロケーション「緩やかな+名詞」形式と「緩やかに+動詞」形式を考察した。日本語教育の初級語彙としてはあまり多く取り上げられなかったが、小説でも新聞、雑誌でも見られる語彙なので、教育現場では生の日本語のテキストによって提示する必要があるように思われる。

コロケーション「緩やかな+名詞」、「緩やか+動詞」の使用実態を考察した結果、「緩やか」によるコロケーション「～名詞」形式は 29 項目で 217 種類の共起名詞、「～動詞」形式は 18 項目で 155 種類の共起動詞が観察された。それに対して、「緩い」によるコロケーション「～名詞」形式では 30 項目の 121 種類の共起名詞、「～動詞」形式では 11 項目の 55 種類の共起動詞が見られた。「緩やか」の連体修飾のコロケーションはその連用修飾のコロケーションより使用頻度が高い。そして、項目を問わず、連体修飾のコロケーションでも連用修飾のコロケーションでも、「緩やか～」形式は「緩い～」形式より多く使われている。また、「緩やか」は「作用」という意味類型の名詞及び動詞と多く共起することが分かった。但し、それは「緩や

か」の同根・同漢字表記の形容詞「緩い」にも同じような傾向が見られる。

このように、同根の形容動詞と形容詞の異同点の探求は日本語学研究だけではなく、日本語教育現場でも語彙指導の項目の一つとして考慮に入れるべきである。特に、日本語と漢字共有の華語が母語か生活言語である日本語学習者の場合、同漢字表記による語彙学習は語彙を増やす効率的な方法の一つだと思われる。

最後に、今回の考察では「緩い粥/ペースト/カレー/水飴/水羊羹/カスタード/プリン/菓」は観察されたが、「緩やかな粥/ペースト/カレー/水飴/水羊羹/カスタード/プリン/菓」は見られなかった。なお、「おなかが緩い」に対応する「お腹が緩やかだ」も観察されなかった。これは「緩やか」と「緩い」の違いの一つだと思われるが、詳しい考察は今後の課題にしたい。

## 参考資料

朝日新聞デジタル <https://www.asahi.com>(2022年4月10日閲覧)

国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」中納言

<https://chunagon.ninjal.ac.jp>

新潮社(1995)『新潮文庫の100冊 CD-ROM版』(略称:100)

土曜ドラマ館(西鉄提供ラジオ番組)1997—2005年分シナリオ

<http://www.nishitetsu.co.jp/nnr/inf/drama/>(略称:西鉄ドラマ)

(2006年7月20日最終閲覧)

毎日新聞 <https://www.miyakomainichi.com>(2022年4月10日閲覧)

毎日新聞(2004)『毎日新聞2003 CD-ROM』日外アソシエーツ株式会社(毎日新聞2003)

朝日新聞出版『週刊朝日』2022年2月4日号、18日号

## 参考文献

伊藤雅光(2003)「コーパスと統計」『コーパス言語学』日本語学4月臨時増刊号VOL.22、東京:明治書院、pp.26—35

国立国語研究所(1982)『日本語教育基本語彙七種比較対照表』東京:

大蔵省印刷局

国立国語研究所 (2001) 『教育基本語彙の基本的研究：教育基本語彙データベースの作成』 東京：明治書院

国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表 増補改訂版』 東京：大日本図書

後藤斉 (2003) 「言語理論と言語資料」 『コーパス言語学』 日本語学 4 月臨時増刊号 VOL.22、東京：明治書院、pp.6-15

斎藤倫明 (2012) 「書評 蜂矢真郷 著『国語派生語の語構成論的研究』」、東京：日本語学会、pp.31-37

蔡茂豊 (1972) 『日語基本語彙二千字』 台北：文化圖書公司

阪倉篤義 (1973) 「接尾語ラカ・ヤカと、その派生語」 『語構成の研究』 (三版)、東京：角川書店、pp.25-73

情報処理振興事業協会 (1997) 『CD-ROM 版 計算機用日本語基本辞書 IPAL-動詞・形容詞・名詞-』 東京：情報処理振興事業協会

大學入學考試中心 (2005~2009) 「基本語彙 2000」「第二外語日語考科試題研發計畫」 報告書(内部資料)

高山善行 (2003) 「古典語研究と現代語研究」 日本語学 4 月臨時増刊号 VOL.22、東京：明治書院、pp.16-24

田中春美 (1988) 『現代言語学辞典』 東京：成美堂

玉村文郎 (1997) 「和語は造語力が弱いのか」 斎藤倫明・石井正彦編 『語構成』 東京：ひつじ書房、pp.101-116

東京外国語大学 (1970) 「日本語基本語彙 2000 語」 『蔡茂豊日語基本語彙二千字』 台北：文化圖書公司

日本語 NAT-TEST・日本語学力テスト運営委員会 (2014) 『新訂品詞別・1 級~5 級別 1 万語語彙分類集』 台北：大新書局

村木新次郎 (2007) 「コロケーションとは何か」 『日本語学』 vol.26、東京：明治書院、pp.4-17

村木新次郎 (2012) 「コロケーションとは何か」 『日本語の品詞体系とその周辺』 東京：ひつじ書房、pp.419-433

頼錦雀監修（2015）『日語基本語彙』台南：國立臺南高級商業職業  
學校

吉田金彦（2000）『語源辞典 形容詞篇』東京：東京堂

早稲田大学語学教育研究所(1978)『中国語と対応する漢語』東京：  
文化庁

国立国語研究所（2006）「現代雑誌 200 万字言語調査語彙表」

<https://ccd.ninjal.ac.jp/mag200.html>

NINJAL-LWP for BCCWJ(NLB) <https://nlb.ninjal.ac.jp/>